



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 乾汽船株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 阿部 健二

TEL 03-3548-3273

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,616	42.6	2,116	335.2	1,947	308.0	1,223	212.2
22年3月期第2四半期	6,744	△51.3	486	△92.0	477	△92.7	391	△90.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	41.59	—
22年3月期第2四半期	13.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	30,654	22,870	74.6	777.30
22年3月期	30,515	22,310	73.1	758.61

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 22,860百万円 22年3月期 22,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	17.0	2,600	85.8	2,400	61.7	1,500	52.5	51.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	29,429,335株	22年3月期	29,429,335株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	19,294株	22年3月期	19,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	29,410,045株	22年3月期2Q	29,410,049株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の世界経済は、全体として景気回復基調にはあるものの、減速感が強まってきております。米国経済は輸出や設備投資が緩やかに増加しているものの、資産バブル崩壊後のバランスシート問題を抱え、先行きに不確実性が高まってきております。域内格差が鮮明な欧州に関しても、信用不安が現出したことにより不透明感が増幅され、消費マインドが萎縮し、回復の足を引っ張りました。その中において高成長を続ける中国・インドを始めとしたアジア経済が牽引役を担ってきておりますが、物価上昇圧力の強まりに伴い景気拡大の増勢がやや鈍化しているものの、全体として高いレベルの成長を維持しつつ堅調に推移しております。一方、我が国経済は、デフレにより企業収益は伸び悩む中、経済対策効果の剥落や一段の円高進行・長期化により事業環境は厳しさを増しており、景気の踊り場色が強まり腰折れリスクの増大が懸念されてきております。

当社の事業を取り巻く環境としては、運賃及び用船市況については、昨年度に引き続き緩やかな回復基調にありましたが、中国等の荷動き減少を受け、6月に市況が一旦下落した後一進一退の状況にあり、中国の鉄鉱石価格の決定により荷動き回復し市況の一部に明るい兆しが見えるものの、全体としては景気の減退による荷動き減少や為替動向と相俟って、先行きの不透明感が強まって来ております。また輸送貨物につきまして、当社の主要品目の一つであります穀物の一部(小麦)において日本政府の売渡制度に変更があり、当第2四半期はそれに伴う船積方法や輸送形態の変更の影響がありました。

当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは89.53円/米ドル(前年同期は95.94円/米ドル)であり、また燃料油価格は通期平均US\$491/MT(前年同期はUS\$356/MT)となり、前年同期との比較において業績回復の重しとなりました。高市況後の急落からの市況回復に伴い、昨年度より四半期を追う毎に右肩上がりて業績を改善してまいりましたが、当第2四半期では急激な円高進行の影響を受け、前四半期の利益には達しませんでした。しかし累計利益金額は計画を達成し、半期経過段階で前連結会計年度の1年間分を上回る金額を計上することができました。

具体的な数字といたしましては、当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の連結売上高は9,616百万円(前年同期比2,872百万円増加)、営業利益は2,116百万円(前年同期比1,630百万円増加)、経常利益は1,947百万円(前年同期比1,470百万円増加)、四半期純利益は1,223百万円(前年同期比831百万円増加)となりました。(参考:前連結会計年度の年間当期純利益は983百万円)

注)平成23年3月期第1四半期に関わる連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信(平成22年8月6日開示)をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は9,386百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ3,318百万円の増加となりました。なお、当第2四半期において、預け入れ期間が3ヶ月を超える定期預金が全額満期を迎え、新たにMMFによる運用を開始しております。このMMFは連結貸借対照表において有価証券に含めて表示しております。

また、当第2四半期連結会計期間に新たな船舶購入や新規借入金の発生はありません。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動により増加した資金は2,505百万円で、これは主に税金等調整前四半期純利益880百万円、減価償却費506百万円、法人税等の還付額896百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動により増加した資金は1,353百万円で、これは主に定期預金の払戻による収入2,126百万円ならびに投資有価証券の取得による支出556百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動により減少した資金は246百万円で、これは主に長期借入金の返済による支出245百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当連結会計期間の業績は当初の予想を上回り順調に推移しているものの、輸送貨物につきまして、上述の制度変更があり、今後の影響次第では主要品目の積取りや収益の比率の構成が変動する可能性があります。

以上の通り運賃ならびに用船市況が不透明感を増しているため、改めて現時点での事業環境を慎重に検討し、さらに為替レートについても不確定な要素はあるものの現在の円高の継続を前提に見通しを修正し、通期の業績に関しましては以下の通りと致します。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	18,500	2,700	2,500	1,600	54	40
今回修正予想 (B)	17,400	2,600	2,400	1,500	51	00
増減額 (B-A)	△1,100	△100	△100	△100	-	
増減率 (%)	△5.9	△3.7	△4.0	△6.3	-	
前期実績	14,868	1,399	1,484	983	33	44

なお、連結業績予想の前提となる為替、燃料油価格は以下の通りです。

	第3～第4四半期 (10月～3月)	当第2四半期累計会計期間実績
為替レート (円/1米ドル)	¥80.00	¥89.53
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$530	US\$491

配当金につきましては、配当性向を通期の当期純利益の20%目安とし、資産の売却損益ならびに投資計画を加味して株主の皆様へ配分することを基本方針としております。具体的な配当金額については、最終的な業績の推移を見つつ決定させていただきます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	1. 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、営業利益及び経常利益は369千円、税金等調整前四半期純利益は7,021千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6,652千円であります。
2. 表示方法の変更	1. 四半期連結損益計算書 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
1. 表示方法の変更	1. 四半期連結損益計算書 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,128,609	7,330,485
海運業未収金	402,200	399,165
有価証券	2,575,989	244,959
貯蔵品	585,726	587,453
繰延及び前払費用	195,263	261,812
その他	524,472	1,388,373
流動資産合計	11,412,262	10,212,250
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	12,672,822	13,676,190
その他(純額)	1,472,375	1,471,828
有形固定資産合計	14,145,198	15,148,019
無形固定資産	5,641	6,888
投資その他の資産		
投資有価証券	4,681,496	4,741,168
その他	437,342	435,172
貸倒引当金	△27,524	△27,524
投資その他の資産合計	5,091,314	5,148,816
固定資産合計	19,242,154	20,303,724
資産合計	30,654,416	30,515,974
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,043,125	1,201,497
短期借入金	968,238	1,075,988
未払法人税等	1,109,259	—
賞与引当金	24,976	24,961
役員賞与引当金	—	21,000
その他	368,394	634,433
流動負債合計	3,513,994	2,957,879
固定負債		
長期借入金	3,786,700	4,416,769
繰延税金負債	120,815	473,087
退職給付引当金	55,325	49,577
特別修繕引当金	255,833	250,750
その他	51,440	57,177
固定負債合計	4,270,113	5,247,361
負債合計	7,784,108	8,205,241

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	17,070,067	16,140,726
自己株式	△6,252	△6,249
株主資本合計	22,513,812	21,584,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△510,121	△123,074
繰延ヘッジ損益	△2,354	△9,853
為替換算調整勘定	859,186	859,186
評価・換算差額等合計	346,711	726,257
新株予約権	9,784	—
純資産合計	22,870,308	22,310,732
負債純資産合計	30,654,416	30,515,974

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	6,744,477	9,616,844
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	5,771,742	7,040,394
売上総利益	972,734	2,576,450
一般管理費	486,358	459,664
営業利益	486,375	2,116,786
営業外収益		
受取利息	25,325	25,888
受取配当金	41,736	27,936
保険解約返戻金	54,348	—
船舶燃料受渡差額金	47,211	10,935
法人税等還付加算金	—	25,172
その他	17,636	19,080
営業外収益合計	186,258	109,014
営業外費用		
支払利息	16,204	53,181
為替差損	176,217	211,080
その他	2,854	14,017
営業外費用合計	195,277	278,279
経常利益	477,357	1,947,520
特別利益		
投資有価証券売却益	186,139	—
用船契約解約金	—	92,587
特別利益合計	186,139	92,587
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,652
その他	—	211
特別損失合計	—	6,863
税金等調整前四半期純利益	663,496	2,033,244
法人税、住民税及び事業税	484,513	1,102,052
法人税等調整額	△212,867	△292,039
法人税等合計	271,645	810,012
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,223,232
四半期純利益	391,851	1,223,232

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	3,762,329	4,659,414
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	3,166,942	3,494,374
売上総利益	595,387	1,165,040
一般管理費	262,710	235,107
営業利益	332,676	929,932
営業外収益		
受取利息	13,310	17,148
受取配当金	10,745	1,045
保険解約返戻金	54,348	—
有価証券運用益	—	28,575
船舶燃料受渡差額金	24,289	7,867
法人税等還付加算金	—	25,172
その他	1,588	2,920
営業外収益合計	104,281	82,730
営業外費用		
支払利息	7,058	25,934
有価証券運用損	5,664	—
為替差損	106,228	99,613
その他	1,572	6,072
営業外費用合計	120,523	131,620
経常利益	316,434	881,042
特別利益		
投資有価証券売却益	186,139	—
特別利益合計	186,139	—
特別損失		
固定資産除却損	—	211
特別損失合計	—	211
税金等調整前四半期純利益	502,574	880,830
法人税、住民税及び事業税	250,193	376,904
法人税等調整額	△44,767	△22,752
法人税等合計	205,425	354,152
少数株主損益調整前四半期純利益	—	526,678
四半期純利益	297,148	526,678

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	663,496	2,033,244
減価償却費	847,303	1,013,191
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,507	15
株式報酬費用	—	9,784
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	41,500	5,083
受取利息及び受取配当金	△67,061	△53,825
支払利息	16,204	53,181
投資有価証券売却損益 (△は益)	△186,139	—
為替差損益 (△は益)	170,714	221,636
未収消費税等の増減額 (△は増加)	16,133	12,469
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△136,153	1,727
売上債権の増減額 (△は増加)	48,015	△3,035
仕入債務の増減額 (△は減少)	△149,832	△156,166
その他	△100,743	△47,983
小計	1,160,931	3,089,324
利息及び配当金の受取額	71,371	50,636
利息の支払額	△16,398	△55,832
法人税等の還付額	—	896,855
法人税等の支払額	△1,523,156	△6,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△307,252	3,974,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	2,126,050
有形固定資産の取得による支出	△19,239	△10,772
無形固定資産の取得による支出	△547	△768
投資有価証券の取得による支出	△463,540	△556,833
投資有価証券の売却による収入	819,480	—
投資有価証券の償還による収入	128,521	—
貸付金の回収による収入	4,380	—
その他	△12,337	△214,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	456,716	1,343,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△338,590	△494,766
配当金の支払額	△760,756	△294,123
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,099,348	△788,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192,842	△507,933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,142,727	4,021,585
現金及び現金同等物の期首残高	9,853,740	5,365,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,711,012	9,386,821

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。